

第106期 中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第106期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）における事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成30年12月



代表取締役社長

亀井文行

コーポレート・スローガン

くらしの中に未来をひらく

企業理念

当社は地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。

事業の概況

企業集団の事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな回復が続きましたが、中国を始めアジア新興国などの経済の先行き、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響など不透明な状況が続いております。

国内経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり緩やかに回復しておりますが、通商問題が世界経済に与える影響や金融資本市場の変動の影響などに留意が必要な状況にあります。

エネルギー業界におきましては、原油価格の先行きが不透明な状況のなか、国内石油製品の構造的な需要減少が続いております。また、電力や都市ガスの小売全面自由化により、従来の垣根を越えた異業種間の顧客獲得競争が一段と激化しております。

このような環境のもと、当社グループは、お客様の多様なニーズに的確にお応えするため、新商材・新事業の開発に積極的に取り組むとともに、各種商材の複合営業を強力に推進しました。

また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともにM&Aによる事業領域の拡大に積極的に取り組みました。さらに、環境の変化に対応すべく、組織、財務、物流などの改革を推進し経営の効率化に努めました。

以上の結果、売上高は原油価格高騰に伴う石油製品価格の上昇などにより2,168億40百万円（前年同期比109.7%）、営業利益は前期に取得した子会社が寄与し売上総利益が増加したものの、一方で取得子会社の販管費や海外子会社の事業拡大に伴う設備投資など販管費の増加により29億72百万円（前年同期比87.6%）、経常利益は38億68百万円（前年同期比97.6%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した固定資産売却益がなくなったことなどにより24億44百万円（前年同期比82.8%）となりました。

なお、第106期中間配当金につきましては、当初の予定どおり当社普通株式1株につき12円50銭とさせていただきます。

（単位：百万円）

	第2四半期 連結売上高	第2四半期 連結営業利益
第106期	216,840	2,972
第105期	197,613	3,393
第104期	188,378	3,717

事業の概況

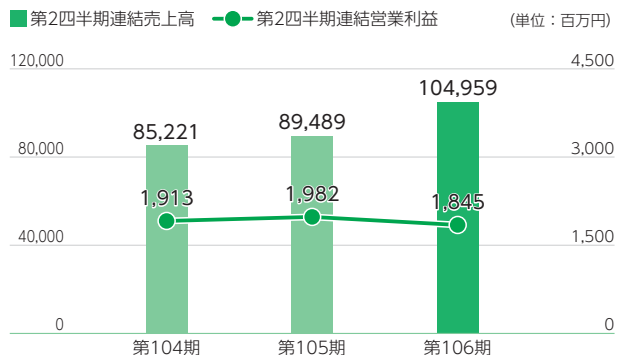
エネルギー事業



当事業部門における石油関係につきましては、石油製品需要の減少や元売各社の再編による影響など厳しい販売環境のなか、新規・深耕開拓に努めました。また、化学品、環境商材などの提案営業や各種商材の複合営業を強力に推進しました。

ガソリンスタンド関係につきましては、お客様のニーズにお応えするため、タイヤ、車検及びコーティングなどトータルサービスの充実を図るとともに、新規出店などにより競争力の強化に努めました。

LPガス関係につきましては、電気とLPガスを組み合わせた料金プランの提供などによる新規顧客獲得やM&Aによる商権獲得を推進するとともに、ガス空調機（GHP）、家庭用燃料電池（エネファーム）、ハイブリッド給湯器などの環境商材の拡販によりLPガスの需要拡大に取り組みました。

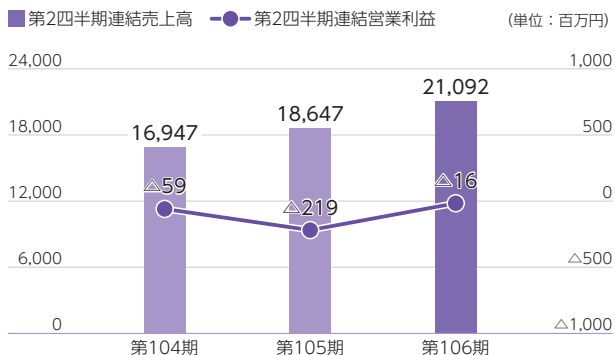


食料事業



当事業部門における食品関係につきましては、農産品は、新規・深耕開拓の推進などにより主食用米や原料米の販売数量が伸長し、好調に推移しました。畜産品は、前期にM&Aにより取得した子会社が寄与したほか、スーパーマーケット向け加工製品の拡充や飲食店への販売強化を図ったことなどにより好調に推移しました。食品原材料は、ヨーロッパの高級洋菓子原材料の拡販に努めました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取扱商品拡充による販路拡大に努めたものの、やや厳しい状況となりました。

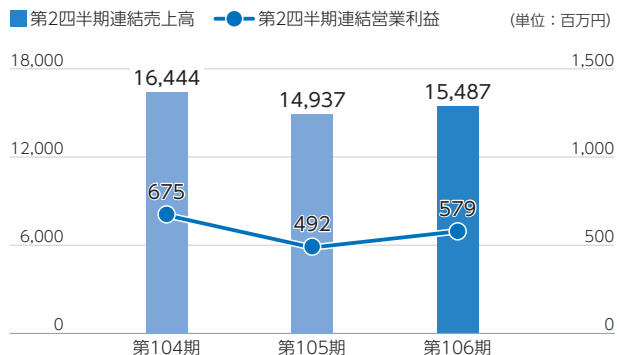


住宅関連事業



当事業部門におけるハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、メーカーとの合同展示販売会を開催し顧客獲得に努めたことにより前年同期並みとなりました。

建設資材関係につきましては、鉄骨工事や外装工事の完成工事高が減少したものの、鋼材などの基礎資材やメガソーラー架台の受注強化などにより順調に推移しました。



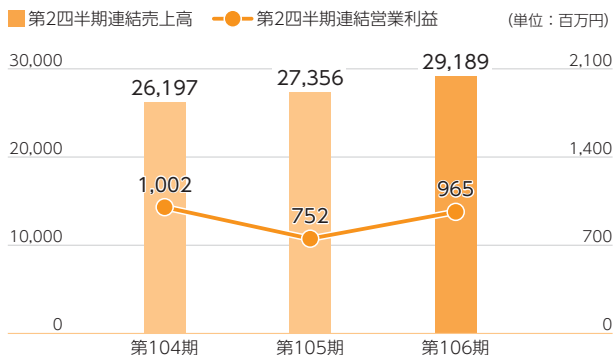
自動車関連事業



当事業部門における国産車販売につきましては、法人営業の強化や大型展示販売会の開催などにより順調に推移しました。

輸入車販売につきましては、販売体制の強化などにより新車の販売台数が伸長したものの、人件費などの販管費の増加により、やや厳しい状況となりました。

レンタカー関係につきましては、顧客ニーズの高い車種の充実を図るとともに、法人客の新規・深耕開拓などにより順調に推移しました。



事業の概況

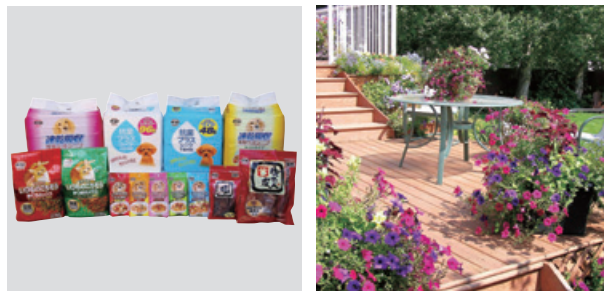
海外・貿易事業



当事業部門における海外事業関係につきましては、米国内で展開する日系スーパーマーケットは生鮮品・中食コーナーでの品揃えの充実を図ったものの、前期に出店した日系スーパーマーケットの運営費用やシンガポールで展開する潤滑油輸送事業での設備投資など事業拡大に伴う販管費の増加により、やや厳しい状況となりました。

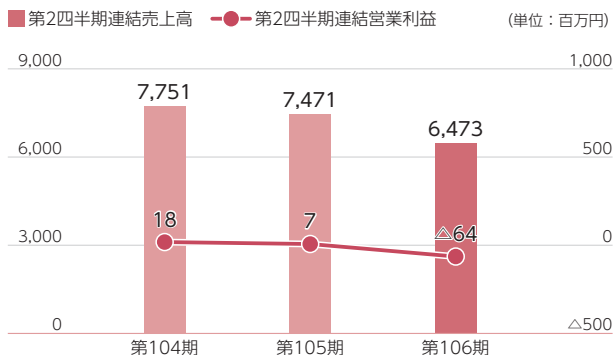
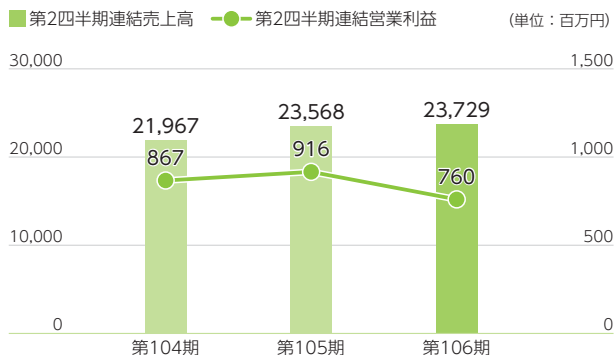
貿易事業関係につきましては、輸出はアジア向けタイヤなどの販売強化により前年同期並みとなりました。輸入はロシア産水産物の鮭鱒などの取扱量が減少したことなどにより、やや厳しい状況となりました。

ペット関連事業



当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めましたが、販売チャネルの多様化による販売競争の激化などにより厳しい状況となりました。

園芸用品関係につきましては、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓に努めたものの厳しい状況となりました。



ファーマシー事業

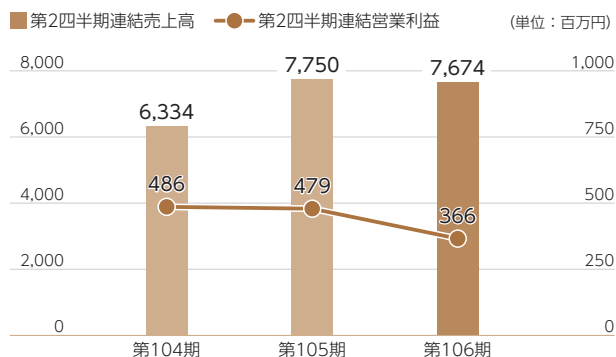
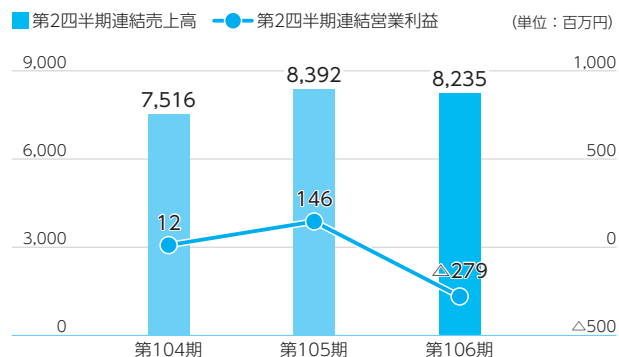


当事業部門につきましては、新規出店及びM&Aによる店舗網の拡充効果や在宅医療の取り組み強化により取り扱い処方箋枚数が伸長しました。一方で調剤報酬及び薬価改定の影響や新規出店に伴う販管費の増加などにより厳しい状況となりました。

その他の事業



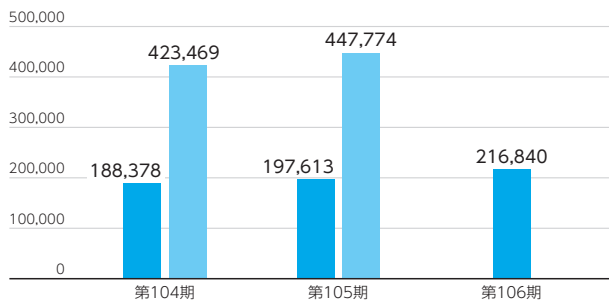
その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規・深耕開拓に努めました。



連結業績の推移

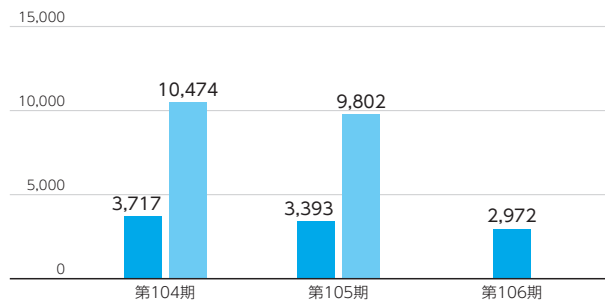
売上高

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



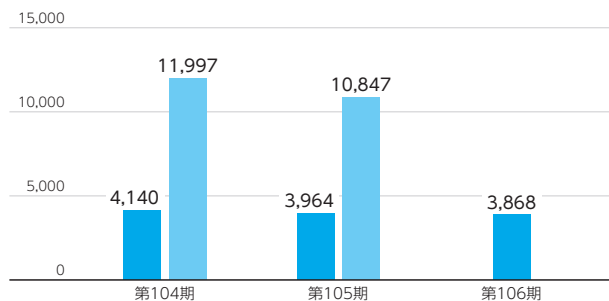
営業利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



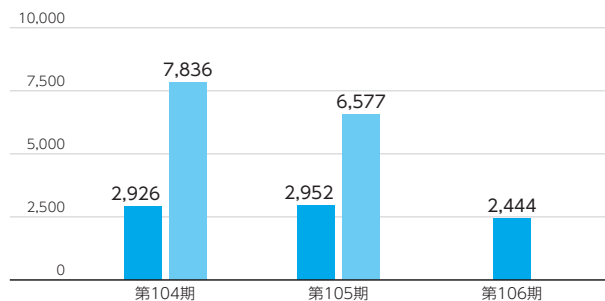
経常利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



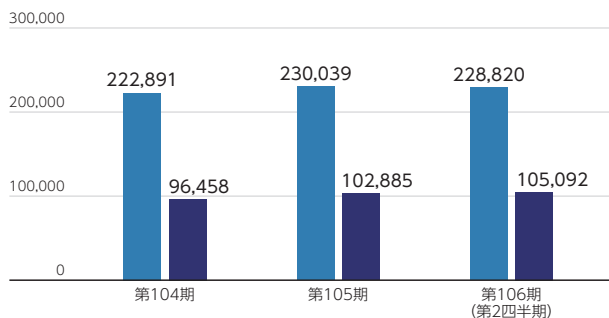
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

(単位：百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



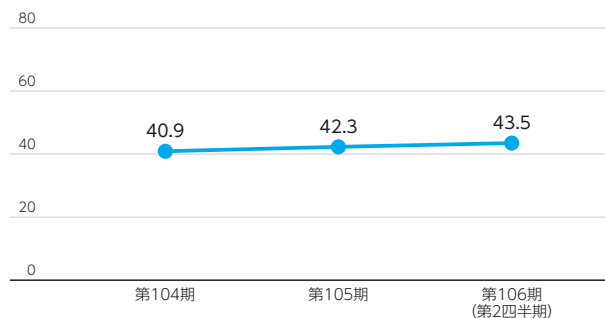
総資産・純資産

(単位：百万円) ■ 総資産 ■ 純資産



自己資本比率

(単位：%)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末	前 期 末
	平成30年9月30日現在	平成30年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	131,131	132,029
固定資産	97,688	98,009
有形固定資産	66,990	66,363
無形固定資産	5,806	6,782
投資その他の資産	24,891	24,863
資産合計	228,820	230,039
(負債の部)		
流動負債	98,460	101,619
固定負債	25,267	25,534
負債合計	123,727	127,154
(純資産の部)		
株主資本	94,727	92,419
資本金	8,132	8,132
資本剰余金	7,248	7,248
利益剰余金	83,574	81,266
自己株式	△4,227	△4,227
その他の包括利益累計額	4,823	5,031
非支配株主持分	5,540	5,433
純資産合計	105,092	102,885
負債・純資産合計	228,820	230,039

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	216,840	197,613
売上原価	184,438	166,213
売上総利益	32,402	31,399
割賦販売未実現利益戻入額	3,921	3,667
割賦販売未実現利益繰入額	4,019	3,703
差引売上総利益	32,305	31,363
販売費及び一般管理費	29,332	27,969
営業利益	2,972	3,393
営業外収益	1,263	945
営業外費用	366	374
経常利益	3,868	3,964
特別利益	231	779
特別損失	27	101
税金等調整前四半期純利益	4,072	4,642
法人税等	1,474	1,557
四半期純利益	2,598	3,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	154	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,444	2,952

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,450	4,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,974	△4,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,315	△27
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182	△197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,978	△77
現金及び現金同等物の期首残高	27,855	25,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,929	25,397

「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、連結財務諸表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

会社情報 (平成30年9月30日現在)

会社の概要

商号	カメイ株式会社
英文名称	KAMEI CORPORATION
本社所在地	仙台市青葉区国分町三丁目1番18号
設立	昭和7年12月29日
資本金	81億32百万円
連結対象会社数	連結子会社 39社 持分法適用会社 5社
売上高	(平成30年3月期) 連結 4,477億74百万円 個別 2,902億46百万円
従業員数	(平成30年3月末) 連結 4,899名 個別 1,893名
カメイグループ	国内56社、海外法人16社

役員

代表取締役社長	亀井文行
専務取締役	亀井淳一
専務取締役	高橋啓之
常務取締役	安部仁市
常務取締役	高橋清光
常務取締役	佐藤淳一
取締役	遠藤良一
取締役	亀井昭男
取締役	鷲足直樹
取締役	菊地信寛
取締役	佐藤清悦
社外取締役	尾町雅文
常勤監査役	菅原正明
社外監査役	後藤忠雄
社外監査役	佐藤富士夫

株式の状況

発行可能株式総数	87,281,000株
発行済株式の総数	37,591,969株
株主数	2,825名

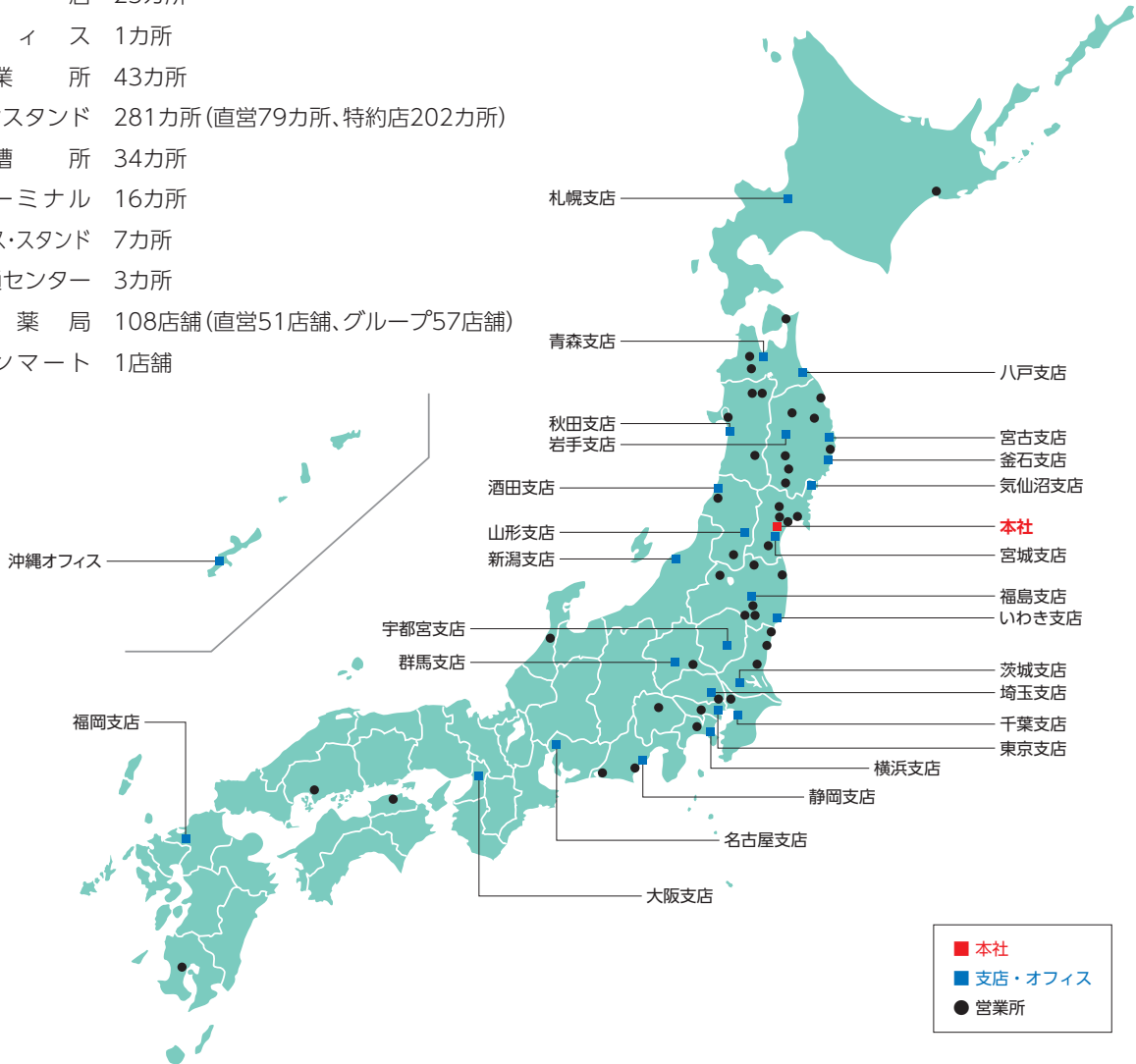
大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社亀井興産	3,000	8.93
亀井文行	2,505	7.46
カメイ不動産株式会社	2,443	7.27
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,100	6.25
公益財団法人亀井記念財団	1,650	4.91
亀井昭伍	1,014	3.02
有限会社グリーン・ウッド	1,000	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	880	2.62
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	774	2.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	707	2.11

- (注) 1. 当社は自己株式3,991,053株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 国内ネットワーク

支店	25カ所
オフィス	1カ所
営業所	43カ所
ガソリンスタンド	281カ所 (直営79カ所、特約店202カ所)
油槽所	34カ所
ガスターミナル	16カ所
オートガス・スタンド	7カ所
食料流通センター	3カ所
調剤薬局	108店舗 (直営51店舗、グループ57店舗)
グリーンマート	1店舗



グループ紹介

エネルギー事業

東北ガス株式会社
栃木液化ガス株式会社
株式会社パシフィック

株式会社センナンエネルギー
株式会社新白河エルピーガス供給センター
さいとうガス株式会社

食料事業

株式会社樋口米穀
株式会社池光エンタープライズ
ウイングエース株式会社
株式会社ヴィントナーズ
アグリ株式会社
サンエイト貿易株式会社
株式会社コダマ
株式会社アンジェリーナ
シーズンダイニング株式会社

住宅関連事業

カメイエンジニアリング株式会社

ファーマシー事業

株式会社遠藤薬局
株式会社まろん
株式会社水戸薬局
株式会社AIM
エムシーエス株式会社
株式会社エイエム・ファーマシー
株式会社オアシーズ
株式会社板東薬品
M2メディカル株式会社

ペット関連事業

株式会社オーシマ小野商事
ペットアイ株式会社
トムソンコーポレーション株式会社

その他の事業

カメイ物流サービス株式会社
富士オイルサービス株式会社
能代第一急便株式会社
塩釜石油基地防災株式会社
カメイ商事株式会社
ミツモト商事株式会社
パーソルテンプスタッフカメイ株式会社

株式会社フィットネスプロモーション
株式会社クロノスメディカルデバイス
株式会社ネクスト仙台
株式会社一・四・一
石巻漁港石油配送協同組合
株式会社宮城テレビ放送
株式会社ミヤギテレビサービス

自動車関連事業

仙台トヨペット株式会社
山形トヨペット株式会社
カメイオート株式会社
カメイオート北海道株式会社
オリックスレンタカー・カメイ株式会社
株式会社トヨタレンタリース仙台
仙山テクノクラフト株式会社
株式会社ジェームス仙台
トヨタ部品宮城共販株式会社

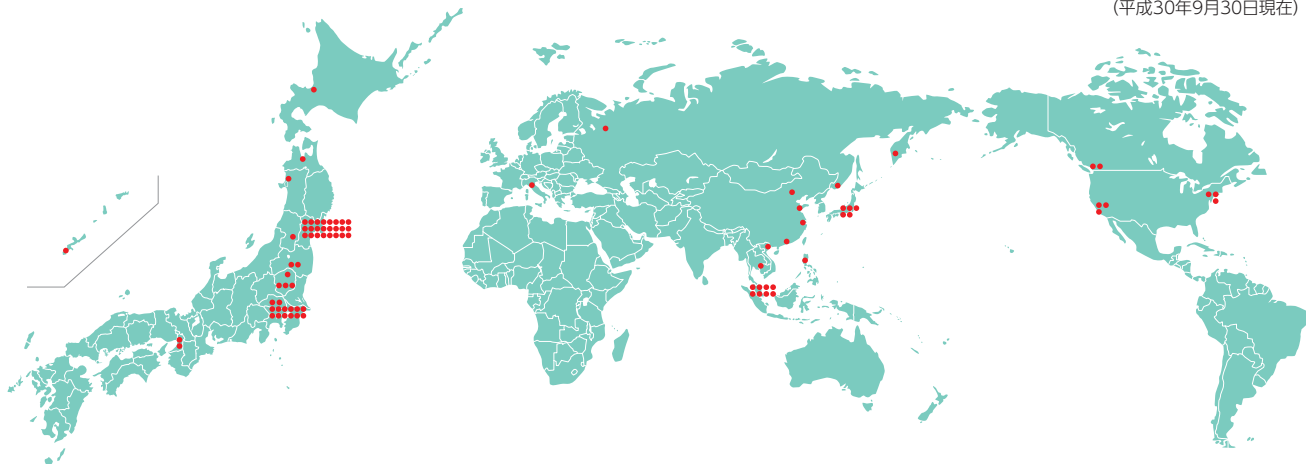
海外・貿易事業

カメイ・プロアクト株式会社
KCセントラル貿易株式会社
サンプラザ株式会社
三興メイビス株式会社
有限会社ナバホスポーツ

海外法人

Kamei North America Co., Ltd.	Imei (Exim) Pte. Ltd.
Mitsuwa Corporation	Santouka Kamei Singapore Pte. Ltd.
YNJ, LLC	Lee Huat Yap Kee Pte. Ltd.
Central Boeki U.S.A., Ltd.	LHYK Marine Pte. Ltd.
Katagiri & Co., Inc.	Translub Marine Pte. Ltd.
Central Boeki Calif., Ltd.	Lee Huat Yap Kee & Co. Pte. Ltd.
Santouka Kamei Canada Foods Ltd.	Qingdao Saint Sports Co., Ltd.
Kamei Singapore Pte. Ltd.	Sanko Mabis (Beijing) Corporation

(平成30年9月30日現在)



トピックス

Santouka Kamei Canada Foods Ltd. カナダ・トロント「ブロードストリート店」「エグリントン店」 開店のお知らせ

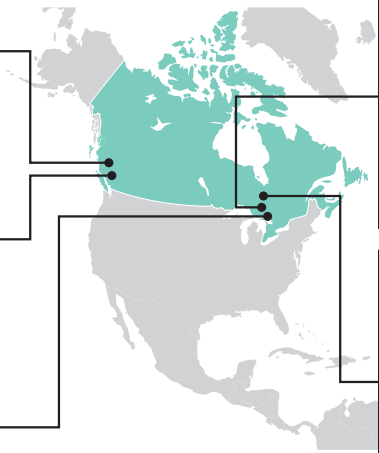
当社のグループ企業でありますSantouka Kamei Canada Foods Ltd. (以下、Santouka Kamei Canada) は、「らーめん山頭火」の新店舗2店をカナダ・トロント市に開店いたしました。

日本の食文化をより多くの皆様にお届け


Santouka Kamei Canadaは、「らーめん山頭火」の直営店舗展開を行っております。

このたび、同社は平成30年7月23日にカナダで4店舗目となる「ブロードストリート店」を、さらに10月3日に5店舗目となる「エグリントン店」を開店いたしました。


カナダ最大の都市トロント市は、国際色豊かで、世界でも住みやすい都市の一つと言われています。近年は、日本食ブームとともに「ラーメン」が定着し、同店も連日たくさんのお客様で賑わっております。これからも店舗網の拡充を図り、より多くの皆様に日本の食文化をお届けしてまいります。




バンクーバー・ロブソンストリート店
所在地
1690 Robson Street,
Vancouver, BC, Canada




バンクーバー・ウエストブロードウェイ店
所在地
558 West Broadway Street,
Vancouver, BC, Canada




トロント・ダンダスストリート店
所在地
91 Dundas Street East,
Toronto, ON, Canada



トロント・ブロードストリート店 **NEW**
所在地
515 Bloor Street
West, Toronto,
ON, Canada



トロント・エグリントン店 **NEW**
所在地
2057 Yonge
Street, Toronto,
ON, Canada



トピックス

カメイオート北海道株式会社

「ボルボ・カー札幌西」 リニューアルオープンのお知らせ

当社のグループ企業でありますカメイオート北海道株式会社（以下、カメイオート北海道）は、平成30年8月4日、札幌市西区の「ボルボ・カー札幌西」をリニューアルオープンいたしました。

洗練された北欧デザインのショールーム

カメイオート北海道は北海道地区のボルボ正規ディーラーとして、札幌・札幌西・旭川にショールームを展開しております。

このたびリニューアルした「ボルボ・カー札幌西」は、ボルボの新コンセプト“Cool Outside”と“Warm Inside”に基づき、巨大なアイスクューブ（冰山）を表現した涼しげな外観と、洗練された北欧家具を配した温かみのある店内となっております。また、アフターサービスにおいても、最新の設備で充実したメンテナンスをご用意しております。



アイスクューブ（冰山）を表現した外観

■ボルボ・カーズ旭川

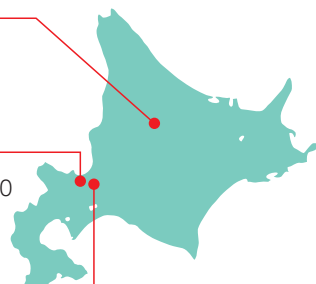
北海道旭川市永山2条9丁目1-41
TEL：0166-48-0850

■ボルボ・カー札幌西

北海道札幌市西区宮の沢2条4丁目4-50
TEL：011-661-8500

■ボルボ・カーズ札幌

北海道札幌市豊平区月寒東1条18丁目1-36
TEL：011-855-7400



ゆったりとくつろげるショールーム

カメイ・プロアクト株式会社

「PATRICK LABO 日本橋、梅田」「thermo mug 日本橋」開店のお知らせ

当社のグループ企業でありますカメイ・プロアクト株式会社（以下、カメイ・プロアクト）は、平成30年9月25日、取り扱いブランド「PATRICK」及び「thermo mug」の直営店を日本橋高島屋S.C.新館に開店いたしました。

また、10月5日、「PATRICK」の直営店をグランフロント大阪南館に開店いたしました。

■ 快適でスタイリッシュなライフスタイルをご提案

カメイ・プロアクトは港区虎ノ門に本社を置き、世界各国のファッションブランドなどを輸入販売しております。このたび、同社がブランドオーナーとなっているフランスのシューズブランド「PATRICK」の直営店6店舗目を日本橋に、7店舗目を梅田に開店いたしました。また、スタイリッシュなデザインと優れた保温・保冷機能を備えるキッチンウェアブランド「thermo mug」の日本初となる直営店を日本橋に開店いたしました。

新店舗では、直営店ならではの充実した品揃えにより、お客様の多様なニーズにお応えし、皆様の快適でスタイリッシュなライフスタイルをご提案してまいります。

■ PATRICK LABO 日本橋

東京都中央区日本橋2-5-1
日本橋高島屋S.C.新館5階
TEL : 03-6262-6388



■ thermo mug 日本橋

東京都中央区日本橋2-5-1
日本橋高島屋S.C.新館4階
TEL : 03-6265-1101



■ PATRICK LABO 梅田

大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪 南館4階
TEL : 06-6467-8330



■ カメイ・プロアクト直営店「PATRICK LABO」

・銀座、吉祥寺、みなとみらい、なんば、神戸

PATRICK

1892年フランスで創業。スポーツシューズの機能性にカラフルな色使いを加えたカジュアルシューズ。エスプリに満ちた優美なフォルムで足元のお洒落を演出。



thermo mug

優れた保温・保冷機能を備える二重構造のキッチンウェアブランド。敏感にトレンドを取り入れ、ファッションアイテムとして日常を彩る。



■ カメイ・プロアクト株式会社

東京都港区虎ノ門3丁目18-19 虎ノ門マリビル5階
TEL : 03-6450-1234
URL : <http://kamei-pro.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
公告掲載紙	日本経済新聞

株式事務に関するご案内

1. 証券会社等の口座に記録された株式

株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金のお支払いについて

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

